

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『「おいしさ」の錯覚 最新科学でわかった、美味の真実』チャールズ・スペンス／著 KADOKAWA 2018. 2 141. 2/スC182/

どんな料理が「おいしい」と感じるのでしょうか？おいしさを左右する要素には料理自体の味だけではなく、音や香りなど様々な要素があることは直感的に予想できますが、本書ではそうした想像よりはるかに幅広い要因があることを、「新しい食の科学（ガストロフィジクス）」として科学的に検証しています。イグ・ノーベル賞を受賞したポテトチップスをサクサク感じさせる音の出し方など、そんなことまで？と思えるような事例が楽しめる一冊です。

『江戸のいちばん長い日 彰義隊始末記』

安藤 優一郎／著 文藝春秋 2018. 4 210. 61/アユ184/

150年前、日本国内は戊辰戦争による混乱のさなかにありました。本書が取り上げるのは、上野の寛永寺で発生した彰義隊の戦いです。当時、江戸城は無血開城がなされ、市中が火の海という事態は回避されたのですが、江戸で全く戦闘がなかった訳ではありません。1日で新政府軍の勝利となったこの戦争は、のちの歴史の流れに大きな影響を与えるターニングポイントとなりました。さまざまな人物の思惑渦巻く維新期の首都決戦の様子が、丁寧に描き出された1冊です。

『消滅遺産 もう見られない世界の偉大な建造物』ナショナルジオグラフィック／編 日経ナショナルジオグラフィック社 2018. 2 520. 87/ナジ182/

世界には、世界文化遺産に代表される、守り伝えるべき建造物がたくさんあります。その一方で、すでに失われてしまった建造物も数多くあるのも事実です。そんな「消滅遺産」を、かつての姿と現在の姿の写真でめぐるのがこの本です。「もう目にするのできない建物は、その栄華と崩壊の記憶を鮮やかに私たちに伝えてくれます。それは、今日にすることができるものよりも、雄弁に歴史を語るのかもしれない。この本を開いて、場所も時間も越えた、人々の歴史と叡智を感じる旅に出てみてはいかがでしょうか。

児童・児童図書研究

『ウィッシュガール』ニッキー・ロフティン／著 代田 亜香子／訳 2017. 7 933/ロニ

自分の望む自身の姿や、大切だと思っているものと、家族の望む自分が噛み合わないときどうしますか？

ある理由で山奥に引っ越してきた少年と、ある理由から自らを「ウィッシュガール」と名乗る少女。それぞれ秘密を抱えた少年と少女が、山奥で見つけた不思議な谷で、友情を深めていきます。自分の価値観や思いやりから相手を変えようとするのではなく、相手の話にきちんと耳を傾け、認めること。また、そのために気持ちを伝えることをあきらめないこと。魔法の谷が二人の世界を変える勇気を引き出してくれます。

雑誌・新聞

4月から新しく受け入れる雑誌です。雑誌に関しては、最新号以外は貸出可能です。

『NHK将棋講座』2018. 5月号より受入 Z/796/S1
高校生棋士・藤井聡太さんの活躍などにより「将棋めし」までも注目されるようになった将棋界。将棋に興味を持った方もいるのではないのでしょうか？

テレビで放送された内容のおさらいとして活用できます。毎号、テーマに沿った戦い方を分かりやすく解説しています。また、対局の観戦記も掲載されていて棋士達の熱い戦いを誌面で振り返ることができます。

『新 幼児と保育』2018. 6・7月号より受入 Z/376. 1/S1

保育士向けの雑誌です。実務の参考になる年齢別の指導計画も見ることができます。現在、小さなお子様と関わりのある人にもおすすめの雑誌です。

幼児が興味を持つ工作や遊びなどの記事が掲載されています。おすすめ絵本の紹介や、食物アレルギーのある子どもと同じ給食が食べられるように代替食材を使用した「除去食」のレシピなど子育ての参考になる情報が満載です。

地域

『只見おもしろ学ガイドブック 改訂版』只見町教育委員会 2017. 3 L291. 7/T8/9-2

新緑が目に見えやかなこの季節。大自然を満喫したい方は、平成26年に「只見ユネスコエコパーク」に登録された只見町に出かけませんか？

この本は自然編、歴史編、民俗編にわかれており、1～2ページに1テーマで只見町の様々な情報を紹介しています。全ページカラーで写真や図も多くわかりやすくなっています。また、もっと詳しく知りたい人のために参考文献も掲載するいたれりつくせりの只見町ガイドです。

『田んぼ、はじめました。』とびやあい／著 イースト・プレス 2017. 3 LA616. 2/T1/1

本県在住の栄養士である著者（農業未経験）が、ひよんな出来事から新潟の米農家に住み込みで農業をはじめること。

機械や農薬を使わずに行われる田植え、草むしり、稲刈り・・・全てが初体験である著者の苦労や驚き、感動を体験できるコミックエッセイです。農業未経験の方は楽しく、分かりやすく農業の実践を学べ、経験者の方でも、機械を使わず皆で行っていた昔の田んぼ仕事を思い出し、ちょっぴり懐かしい気分になれることうけあいの1冊です。田んぼ仕事のほか、畑での野菜栽培もあり。